

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

o-Phenylenediamine のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

0113EDR

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: o-Phenylenediamine
- 2) 暴露方式: 半止水式 (48 時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物: オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間: 21 日間
- 5) 試験濃度(設定値): 対照区, 0.10, 0.22, 0.46, 1.0 および 2.2 mg/L (公比: 2.2)
- 6) 試験液量: 80 mL / 容器
- 7) 連数: 10 容器 / 試験区
- 8) 供試生物数: 10 頭 / 試験区 (1 頭 / 容器)
- 9) 試験水温: 20 ± 1°C
- 10) 照明: 室内光、16 時間明 / 8 時間暗
- 11) 分析法: HPLC 法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質濃度の測定値で設定値の±20%を超えるものがあつたため、各影響濃度の算出には実測値を採用した。

### 2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

|                     |                                   |
|---------------------|-----------------------------------|
| 親ミジンコの半数致死濃度(LC50): | 0.68 mg/L (95%信頼区間:0.46~1.0 mg/L) |
| 50%繁殖阻害試験(EC50):    | 0.35 mg/L (95%信頼区間:0.32~0.40mg/L) |
| 最大無作用濃度(NOEC):      | 0.083 mg/L                        |
| 最小作用濃度(LOEC):       | 0.21 mg/L                         |